

児童発達支援事業所における自己評価(公表)

令和3年度 ひらた旭川荘通園センター

回答 6

公表日 令和4年4月27日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1			環境整備を行い、部屋を広く、有効的に使用できるように改善した。また、ベッドを1台設置した。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3			決められた職員数は配置できている。職員間の連携をより図りながら、安全に日々の受け入れを行う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	1		ドアの幅が狭い所もあるため、日々、注意して介助を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	3	3			より細やかな箇所まで掃除・消毒を行い、環境整備に努めた。また、遮光カーテンを新しく設置し、活動の幅が広がるようにした。季節に合わせた部屋づくりに努めている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2		3	話し合いの機会を多く持つようにし、誰もが意見を言えるようにして業務改善を進める。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			1	日頃の会話や、面談の時などにもお聞きするようにする。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			1	ホームページで公開しており、誰でも見られるようにしている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2		3	第三者評価は受けていないが、施設の第三者委員に事故・ヒヤリハットについて意見を求め、事故防止に活かしている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2			新型コロナウイルス感染の影響もあり、縮小されているが、オンラインでの研修に参加できている。また、施設内での研修にもオンラインにて参加できている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5			1	6か月に1回モニタリング、カンファレンス、保護者との面談等を行い計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	1	2	標準化されたものは使いづらいため、個々にあわせて行うようにしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1		3	ガイドラインのことを職員全体で把握し、支援を行えるようにしていく。「地域支援」のところまでできていないことが多く今後支援内容を検討していく。

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	4	1	1	カンファレンスに参加できていない職員への伝達など見直し、それぞれがきちんと理解した上で支援ができるようにしていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	1	全体で行う活動は会議等で話し合って決めている。個別のプログラムに対しても全体での話し合いの場を持つようにしていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	2	3	1	全体の活動は月担当を職員で交代で行い、いろいろな工夫ができるようにしている。個別プログラムは、職員間で情報共有し、工夫が必要である。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援サービス計画を作成しているか	5		1	生活介護と一緒に活動しているため、子どもだけの集団活動は難しい。個別活動の計画をもっと具体的にしていき、支援につなげる。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			細かな確認を行うようにしている。打ち合わせに参加できない職員には、口頭や文書で伝達するようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			支援終了後の振り返りを行っている。打ち合わせに参加できない職員には、口頭や文書で伝達するようにしている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援終了後に記録をとり、モニタリング・支援計画の作成時等で活用し、必要に応じて改善するようにしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		1	6か月に1回モニタリングを実施している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	5		1	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者や保育士が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3	2	併用利用の事業所との情報共有は必要に応じて行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係者と連携した支援を行っている	3	1	2	就学前の児童には教育委員会などに情報を提供するなどしている。今後も必要に応じて行っていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	2	2	直接連絡を取ることは難しいため、保護者を通じて必要なことは確認等行っている。必要あれば連絡が取れるようにしていく。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	1	移行するケースは今までない。あれば必要な情報共有を進める。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		1	就学前、学校からの見学を行き入れ、情報共有を行うことで、学校生活へとスムーズに移行できるようにしている。

関係機関や保護者との連携	②7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけている		2		4	荘内のセンターの研修会に参加している。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	2	2	今年度はできていない。今後、荘内の保育園と交流の機会等検討していく。
	②9	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	1	3	今年度はできなかった。今後必要に応じて参加していく。
	③0	日頃から子供の状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			1	送迎の際、保護者に様子を口頭で伝えたり、家での様子を聞いたりしている。また連絡ノートでも伝えるようにしている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3		3	
保護者への説明責任等	③2	運営規定、支援の内容、利用者負担等について適切な説明をおこなっているか	5			1	契約時、支援計画の説明時に行っている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			1	個別の支援計画書を提示しながら説明を行い、同意を得ている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			2	送迎の時や面談の時に話を聞き、内容によっては適切な職員から改めて話をするようにしている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			1	今年度は、新型コロナウイルス感染の影響のため活動ができなかった。生活介護利用の保護者中心で行われているが、今後、児発の保護者も参加できるよう日程調整や児童の預かり等配慮していく。また、親子で参加できる行事を実施し、保護者同士がコミュニケーションを図れる機会を設けるようにする。
	③6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3		1	苦情はなかったが、あった場合には迅速かつ適切に対応していく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			1	毎月「通園便り」を発行している。また、ホームページにも公表している。
	③8	個人情報に十分注意しているか	6				
	③9	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			1	子どもや保護者の様子に合わせて配慮をしているが、今後より良いツールなども検討していく。
	④0	事業所の行事に地域の住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	1	2	行事に音楽ボランティア等を招いていたが、新型コロナウイルス感染防止のためここ2年は招いていない。コロナ禍明けには再開する予定である。

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	1	職員へのマニュアルの確認をするとともに保護者への周知のために、家族会・面談等で話をして行く。またいつでも見られるようにしておく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			施設内で避難訓練を毎月行っている。荘内、棟内の合同訓練もあり、参加している。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5		1	入園時に聞き取りと書面での確認を行い、緊急時の対応等把握するようにしている。服薬についてもお薬手帳の確認を行っている。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	2	保護者からの聞き取りを丁寧に行い、検査データ対応方法などを把握するようにしている。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			園内での研修も行い、意識の向上につなげていく。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		2	身体拘束に関しては、契約時に必ず説明を行っている。やむを得ず必要な時には、随時、保護者へ確認を行う。 バギー乗車時のベルト装着など計画に記載し、保護者への説明を行っている。